

センタレス加工に於ける真円度向上効果

固定砥粒を用いたセンタレス ストーンラッピング加工に於いては、下図2, 3に示す様に、加工物断面形状の凸部より順次加工されていく特徴（トッピング効果）を有するため、加工物の真円度を大きく向上することが可能です。

但し、図1の様な楕円形状の場合は、その効果が得られず、真円度の改善が余り望めません。

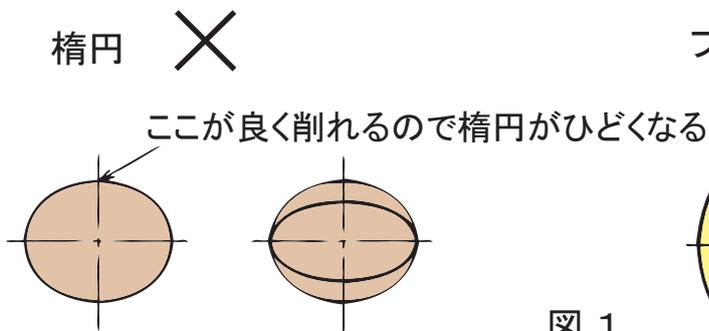
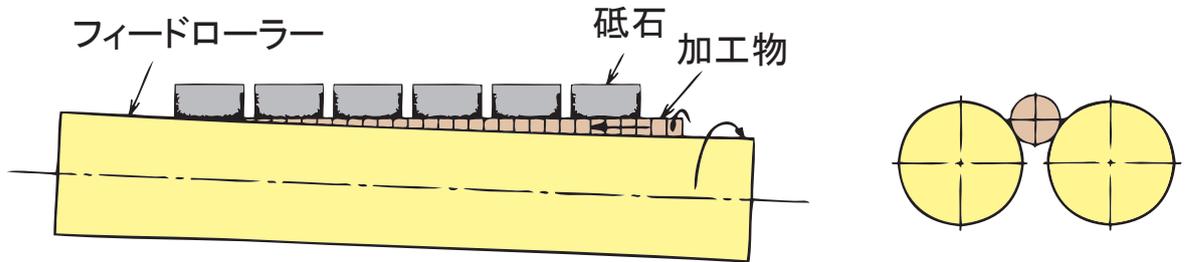


図 1

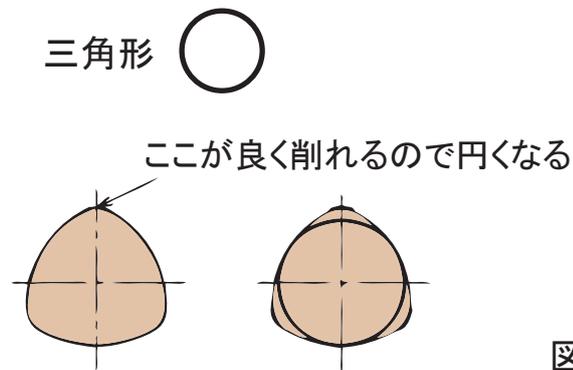
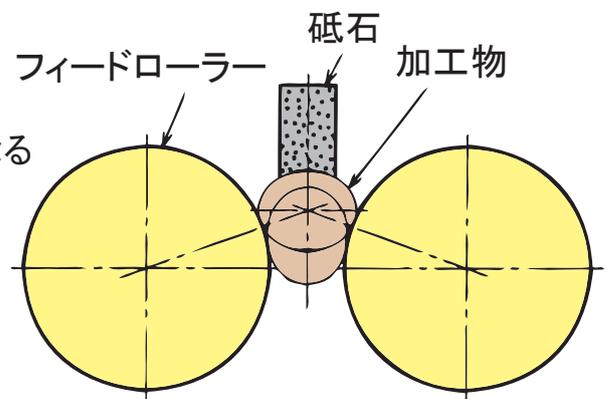


図 2

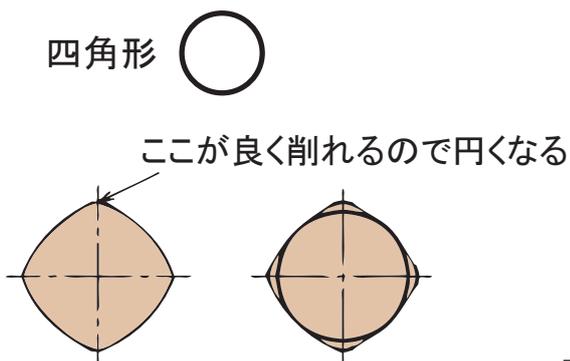
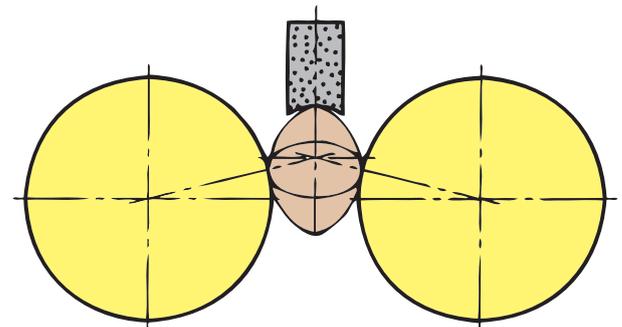


図 3

